

企画展

新収蔵展 ふるさとからの贈りもの



鱒ヶ沢町大曲遺跡



フクロウの剥製



ナウマンゾウ大腿骨化石

昭和48(1973)年、本県初の総合博物館としてオープンした当館は、平成25年9月で40年の節目を迎えました。この間、県民のみなさまからお寄せいただいた資料は、10万点程にのぼります。これらの資料は、郷土の姿をものがたる貴重な財産であり、後世に向けて確実に保存し継承していくことはもちろん、展示や教育、研究など、様々な機会や場面を通じて、広く活用させていただいております。

この企画展では、今年度新たに寄贈いただいた資料をはじめ、当館で所蔵している資料の中から特色のあるものを選び、展示いたします。いずれも青森ゆかりの品々であり、県民のみなさまの御厚意による「ふるさとからの贈りもの」です。

展示内容の一端をご紹介しますと、考古分野では、県内の弥生時代についての研究で知られる新谷雄蔵(あらやゆうぞう)氏より寄贈された貴重なコレクションを展示し、氏の業績を紹介いたします。歴史分野では、江戸後期に当地を訪れた幕府役人村上島之允(しまのじょう)(秦檜丸(はたのあわきまる))が南部・下北・津軽の街道筋を描いた『日本国東山道(とうさんどう)陸奥州(むつしゅう)駅路図』の刊本や、首相・蔵相を務めた高橋是清が交流のあった

平内の佐々木多門に宛てた書簡、産業分野からは、大正～昭和期に活躍した鳥瞰図絵師吉田初三郎の「八戸市鳥瞰図」の貴重な原画などを展示します。自然分野では、深浦町沖合の日本海海底から引き揚げられたナウマンゾウの大腿骨化石、オジロワシ・フクロウ・コノハズクの剥製などの寄贈資料を展示するほか、委託制作したヒラメ等5種類の魚類の樹脂封入標本を展示します。他にも、美術、民俗、教育普及分野から、さまざまな資料を展示いたしますので、この機会にぜひ御観覧ください。

(増田 公寧)

●期間 3月1日(土)～4月13日(日)

●場所 1階特別展示室(大ホール)

●時間 9:00～17:00

●観覧料 一般 310円(250円)
高校・大学 150円(120円)

中学生以下無料、障がいのある方は免除。
※()内は20名以上の団体料金。

こちらの金額で常設展も観覧できます。

リニューアル進行中 ～歴史展示室～

当館は江戸時代の絵図をたくさん所蔵しています。なかでも、平成23年4月に県重宝の指定を受けた津軽領の正保国絵図「陸奥国津軽郡之絵図」は、最も重要な資料です。しかし、この絵図は縦393cm・横488cmと巨大で広げるのも大変なうえ、照明や温湿度の状況によっては退色したり、絵の具が剥がれたりする心配があることから、普段は収蔵庫に保管しています。

当館では、おおよそ2～3年周期でこのような大型絵図を公開するよう努めていますが、そのたびに「常設展で閲覧できないか」との問い合わせが寄せられます。そこで、こうした声に配慮し、歴史展示室の「新しい地図」のコーナーに「陸奥国津軽郡之絵図」の大型複製パネルを設置し、より間近にみられるようにしました。

なお、平成23年3月に寄贈された「成田彦栄コレクション」についても、成田彦栄氏の業績を顕彰する意味をこめてコーナーを新設することにしました。いずれも3月中の公開を予定しています。しばらくお待ちください。

(本田 伸)



「陸奥国津軽郡之絵図」大型パネルの取り付け



展示作業中の「成田彦栄コレクション」コーナー

平成25年度 冬休みづくり回し大会

平成26年1月12日(日)13時から、郷土館小ホールで毎年恒例のづくり回し大会が開催されました。大会参加者は小学生、幼児を含めて27名。低学年の部と高学年の部に分かれて、づくりが回っている時間を競い合い、低学年の部と高学年の部ともに新記録ラッシュとなりました。

づくり回し大会を開催するねらいは、郷土の伝統的な玩具「づくり」(こま)について、子どもたちに解説、回し方を指導して、郷土の伝統的な遊びを普及させることです。

また、大会にはづくりを回したことがない子どもたちも多数参加しています。最初は、づくりを回せなかった子どもたちも、大会が終了するまでには全員回すことができるようになりました。大事なことは参加者全員が達成感を味わい、「また参加したい!」「またやりたい!」と思える気持ちを持たせることです。今後も大会を通して、子どもたちに達成感を提供できるように大会を続けていきたいと考えています。

(伊丸岡 政彦)





郷土館の活動～教育普及活動 出前授業編～



青森県立郷土館では、資料を収集し展示室で展示する以外にも、様々な活動を行っております。その活動のひとつが、教育普及活動の「出前授業」です。出前授業は、所蔵する資料を児童生徒の待つ学校へ、直接資料を持ち込み、当館学芸課職員が解説する活動です。10年前から行っており、今年度も3月24日まで県内各地へ出張する予定です。一般の方にはなかなかその様子をお見せすることができないため、広報でその活動の様子を紹介します。



今回、出前授業に向った学校は、青森市から車で1時間30分ほどの場所にある「つがる市立富菴小学校」の3学年です。内容は、考古、歴史、自然など様々な分野で行いますが、今回は一番依頼の多い民俗分野から、「社会科 古い道具と昔の暮らし(衣食住)」についての授業でした。昔、電気・ガス・水道がなかった時代の暮らしについて「衣(昔の着物、洗濯)」「食(昔の調理器具、食器)」、「住(昔の暖房や明かり)」の3つのコーナーにわけ、職員が各コーナーを担当し解説します。一通り解説が終わったあとは、実際に子どもたちが昔の道具に触ったり、動かしたり、質問したりできる体験活動の時間になります。最後に確認として、感想発表や学習のまとめの時間を設け、授業終了となりました。



学芸課職員は子どもたちの興味や関心、好奇心を上手に引き出し、現代では体験できない昔の暮らしをきちんと理解してもらえるか、発問ひとつにも工夫をしています。また、聞いている子どもたちはそれに応えるように、解説を聞き逃さないよう集中して話を聞き、驚きや笑顔を見せながら積極的に学び取ろうとする姿が印象に残りました。今後も、郷土館はふるさとの歴史・文化を語り継ぐ担い手として、県民のために活動を続けて参ります。
(倉光 伸)

TTHAグループ主催

「日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展」 ～天空の城ラピュタ、火垂るの墓、時をかける少女～

日本アニメーションの美術監督として数々の名作に携わってきた山本二三氏の仕事を紹介する、TTHAグループ主催「日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展～天空の城ラピュタ、火垂るの墓、時をかける少女～」が11月16日(土)から1月13日(月・祝)まで開催されました。有名なジブリ作品の背景画も数多く展示されるということで、若者を中心に背景画の細部までじっくりご覧になるお客様の姿が多くみられました。

また、11月16日の開幕日には、山本氏によるトークショー&サイン会やデモンストレーションが開催されました。トークショーでは、製作現場での話を宮崎駿監督とのエピソードなどを交えながら話されていました。

その他関連企画として、1月5日(日)にはフルーツ奏者 竹澤聡子氏らによる<お正月特別>県立郷土館コンサート「♪ジブリ音楽セレクション♪」も郷土館小ホールで開催されました。午前、午後ともに小ホールいっぱいにお客様が集まり、誰もが一度は聞いたことのある名曲の数々をじっくり聴き入っていました。



特別展「青森県立郷土館開館40周年記念 平尾魯仙～青森のダ・ヴィンチ～」



青森県のような分野について研究し、本県の学問の礎を築いたひとりである平尾魯仙を紹介した特別展「青森県立郷土館開館40周年記念 平尾魯仙～青森のダ・ヴィンチ～」が、当館大ホールで9月13日(金)から11月10日(日)まで開催されました。

青森県立郷土館は昭和48年に開館し、平成25年9月で開館40周年を迎えました。これを記念して開催された特別展の開催に先立ち、開会式も当館エントランスホールで行われ、多くの関係者の方々に出席していただきました。

魯仙についてあまり知らずに来館されたお客様は、魯仙のマルチな才能の一端に触れ、「青森にこれほどまでの人物がいたことに驚いた」と感心した様子でした。(写真は、開会式後担当学芸員による解説の様子)

※平尾魯仙の図録は、現在も販売しております。

日専連青森主催「第23回 日専連 全国児童版画コンクール青森地区選」



毎年日専連が主催している「第23回 日専連 全国児童版画コンクール青森地区選」が1月25日(土)・26日(日)の2日間、当館大ホールで開催されました。東青地区や野辺地町の小学生が描いた698点の入賞作品が展示されました。25日(土)には、当館エントランスホールで表彰式も行

われ子どもたちの様子をカメラに収める親御さんの姿が数多く見られました。この2日間、常設展示室とともに家族連れで大変賑わいました。

TTHAグループ主催「第3回 東奥児童書道展」



昨年に引き続き当館大ホールで、2月14日(金)から23日(日)まで「第3回 東奥児童書道展」が開催されました。今年は、県内各地の保育園、幼稚園、小・中学校から5000点以上もの作品が寄せられ、その中から入賞作品533点が展示されました。昨年は3日間のみの開催でしたが、今年は

開催期間を延長し、子どもや孫たちの力強い作品を一目見ようと多くの家族連れや年配の方が足を運びました。

26年度の企画展・イベント情報

- ◆企画展「新収蔵展-ふるさとからの贈りもの」 3/1(土)～4/13(日)
- ◆企画展「おもちゃ百科図鑑-あそびの今昔-」 4/25(金)～6/11(水)
- ◆TTHAグループ主催「感動のシーンふるさと発信
青森県写真連盟50周年記念 写真展」 6/21(土)～7/6(日)
- ◆TTHAグループ主催「～小さな夢の世界・ミニチュアハウスへようこそ～
ドールハウス展 in 青森」 7/12(土)～8/24(日)
- ◆「ミュージアム探検隊」 土・日・祝日および春休み期間(4/1～6)
- ◆「夏の自然観察会」 5/25(日) ※事前申し込みが必要
- ◆「土曜セミナー」 毎週土曜日13:30～15:00(5月から) ※無料
- ◆「解説案内」 毎週日曜、祝日 午後2時から常設展を案内



当館解説員S作